

特集Ⅱ

芸術・文化・ひょうご

●「愛のない作品は作品でない」

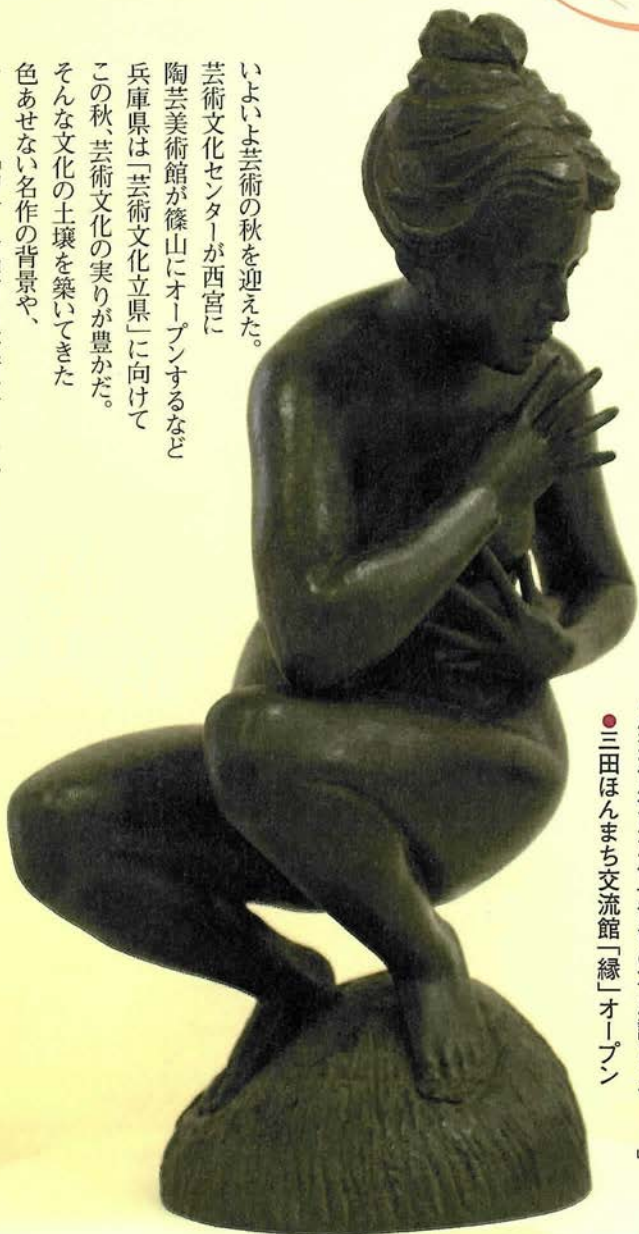
彫刻家 新谷琇紀氏 インタビュー

●画家・鴨居 逝って20年／伊藤誠

●平田郁 パリの風を描く

●感透音神戸主催「音色の不思議コンサート」

●三田ほんまち交流館「縁」オープン



いよいよ芸術の秋を迎えた。

芸術文化センターが西宮に

陶芸美術館が篠山にオープンするなど

兵庫県は「芸術文化立県」に向けて

この秋、芸術文化の実りが豊かだ。

そんな文化の土壌を築いてきた

色あせない名作の背景や、

今まさに「旬」な活躍中の芸術家にスポットを当て

芸術の本質を探るのみならず、

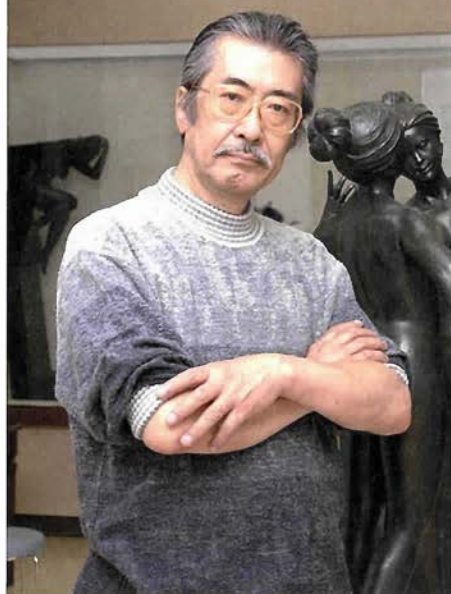
新しい動きや試みを紹介し未来を展望してみよう。

「愛のない作品は 作品でない」

彫刻家 新谷琇紀氏 インタビュー

7月に兵庫県公館で彫刻展を開いた新谷琇紀氏にインタビュー。人の生きている間になかったら寂しい。あれば何となくほんわかと、わくわく感も情熱も湧いてくる、そんな「愛のある芸術」の根源を尋ねてみた。





紆余曲折、 人生の道はローマに通ず

——この度、兵庫県公館にて開催された「兵庫県文化賞受賞作家展・新谷琇紀アモレ彫刻展」では先生が18才頃の木彫や、イタリア留学以前の作品、また震災までの作品の抜粋が展示されていますが、とてもバラエティーに富んでいますね。

新谷 学生時代は、高村光雲や光太郎、萩原守衛などの作品について興味深く研究していました。戦後、欧米の美術が頻繁に紹介され、特にフランス・イタリアの彫刻が新鮮でしたね。

——それで、イタリア彫刻界の巨匠、エミリオ・グレコさんに師事したのですか。

新谷 いえ、美大卒業後、僕は実はアメリカに行く予定だったのですよ。アメリカの美術学校の入学許可はもちろん餞別までもらっていたのです（笑）。ところが日米安保条約の頃で、ハガチー事件がおこった。日米関係が悪くなり、

危ないということではアメリカに行けなくなりました。ブラジルに私の好きな建築家がいるのでブラジル行きも考えたが、中国の友人が「日本には素晴らしい仏像があるのになんで海外へ行くの？」と言うんです。一応、仏像の変遷について勉強してきたつもりではあったが、更に徹底的に研究してやろうと奈良や京都に足繁く通いましたね。

——どのように研究していったのですか。

新谷 いろいろな文献で調べ歴史を遡っていきました。仏像は538年頃、朝鮮半島や中国大陆から仏教とともに入ってきたのです。それから前をたどるとシルクロードへとつながるのです。簡単に言うとな今のパキスタン、ガンダーラの仏像が由来ですね。それも西洋のギリシャ彫刻とインドの仏像が合体したわけですから、やがて地中海へと遡れるのです。

——壮大ですね。

新谷 調べると非常に面白いので、インド・アフガニスタン・イラン・イラク・エジプト・ギリシャ・ローマと文化伝来の大図版を作りその通りに旅行しようとした。しかし当時、朝鮮半島は通れない。中国も国交回復してないし。インド・パキスタンへと思ったけれど、ここでも紛争がはじまっていて……。それでいきなりエジプトのカイロに飛びました。エジプトの美術とグレコローマンの融合を見て、その後ギリシャ、ローマへ。日本の彫刻が世界とどうにつながっているか、一つの大きな流れを身をもって感じました。

——ヨーロッパに行ったというのも何か「人生

の糸」を感じますね。

新谷 神の思召しですかね。結果的に地味な作業だったけれど、今日の自分があるのは先祖のお陰ですし、根源を極める意味において、非常に意義がありました。

——天命ですね。

新谷 そんな使命感に目覚めたのはちょうどそのころですね。派手でなくてもかまわない。脈々と彫刻を作ること。作り人知らずでもいい。自然淘汰されていっても残るのが理想だと。それが一つの社会参加と考えています。そんな使命感に燃えて今後も作るつもりです。

偶然か？運命か？

巨匠たちとの出会い

——師匠のグレコさんに出会う縁は。

新谷 これぞまか不思議、そんな風に運命が設定されていたのでしょうか。他にも彫刻界の巨匠と呼ばれる人たちに次々と何故か知遇を得るようになってきましたね。

——ほかにもたくさん知り合われたのですね。

新谷 最初に出会ったのはマリノ・マリニでした。ローマで彼の大展覽会をしていたとき、アメリカ人の彫刻家にレセプションへ行こうと誘われて。そこにカメラを2つもぶら下げて同行しました。マリノ・マリニが「けつたいな奴が入ってきた」と思ったのでしょうかね。欧米人のなかにたったひとりの東洋人だったし。ぼくの方を見て大きく手を挙げて。ぼくも「あれ、後ろに誰か知っている人がいるのか」とふり返ったら誰もいない（笑）。それでアメリカ

人の彫刻家が「おまえのことや」と言うので近寄って行くと、イタリア語でワーッとしゃべってきたけど全く分からない（笑）。そこでそのアメリカ人が通訳してくれて…。

——何をきいてきたのでしょうか。

新谷 「あなたはどこから来たのか？」ってね。日本から彫刻を勉強しに来たといったら歓迎してくれましてね。「私一週間ローマに居るから毎日いらつしやい。マリニの友達だって言えばフリーパスや！」ってね（笑）。そんなんで翌日から一週間会場に毎日行つて、写真撮らいたと言ったら全部撮つていいと。

——運命の導きでしょうね。

新谷 それからグレコです。通っていたローマのアカデミア美術学校の当時の教授がアレックスンドロ・モンテレオーネというヨハネ23世の銅像の作者で、無口な職人肌の人でした。私と合いましたが、残念ながらガンを患つていて、間もなく亡くなられた。それから一・二ヶ月経ったある日突然、グレコが入ってきて、びっくりした！まさかと思つてほつぺた叩きましたよ（笑）。そして「今日から私がここの教授です。みなさん作品を見せてください」と。

——どんな作品を見せたのですか。

新谷 スケッチブックに描いたデッサンを見せました。彼は必ず良いか悪いかしか言わない。「まあまあ」がない。それでぼくのをみたら「良い、これも良い、みんな良い」と、それで学生みんなに「新谷の絵は良い。みんなもこう描かないとイカン！」って言うんですよ。日本で美大在学中、スケッチブックを積み重ねたら自分

の身の丈になるまでデッサンしてやろうとみっちり描きましたから、ある程度は描けるけどまさかね。世界中から生徒が集まっていた中で、あいつ上手いな、ジャボネジャボネって感じで、みんなの羨望の的で引つ張りだこでした。

——グレコさんの目にとまるなんてすごいですね
 新谷 それで一年経ったあと、ジャコモ・マンズーと知り合う機会を得たのです。車を買おうと、いろいろ中古車屋を回っていたときにある店で、真つ赤なアルファロメオに乗って、胸毛出して、サングラスかけたイタリア人が入ってきた。彼はカルロというローマ大学の学生で、車の話で盛り上がりつつ意気投合。ドライブに誘われて、彼は得意になって走るんですよ(笑)。それでカルロが「友達のお父さんが彫刻家だ」と言うのでその人の名前をきくと「ジャコモ・マンズー」と(笑)。驚いたのなんの!それで、会いに連れて行ってもらったのですが、その時手ぶらでは何だから、作りかけの小さな彫刻を数点、箱につめこんで持って行きました。

——どんな彫刻を。

新谷 裸婦でした。観てくれているいと批評してくれました。そして気に入ってくれたようで、「新しいの出来たら持ってきたさい。電話しなくてもいい、来てベルを押して名前を言えばよい」ってね。で、奥さんに「それは大変なことですよ。主人は減多にそんなこと言わないですから、あなたは特別ですね」って耳打ちされて。それからよく通ったものです。

——それで美術学校の方は。

新谷 グレコにはえらいほめられて。家に来い

とランチに誘われたのですがアトリエも居間もトイレも全て案内してくれて、いやあきれいでしたよ。ホコリもない。アトリエの床はブルーのタイルでした。

「グレコ」とはつまり「ギリシヤ人」という名前、そしてシチリアの出身でしたから、地中海の色やなあって。棚にヘラや道具類が整然と並べられていて、その一つを手にとって見せてもらい、また元に戻したのですが、少しずれていたのでしょう、彼がきちんと置き直していました。これは几帳面な人やと思いました。確かに彼の作品を見るときちつとした感じを受けますね。

彼らとは、パツと行つてこんなにちわではなく、いろいろなことを教えていただいたり、お酒飲んだりね。それぞれの人間性からいろいろよく学びました。

「アモーレ」を芸術に、
 そして街に

——先生はよく「アモーレ(＝愛)」と題していますが、イタリアでの経験からでしょうね。

新谷 アモーレという言葉は日本ではちよつと



誤解されやすいようです。グレコの家に行つてイスに座つてそのイスはいつの物かときくと、これ百年前や、二百年前やと。日本では粗ゴミとして捨てそうな物も使っている。物を大切にするといい気持ちをはかの言葉に置き換えると、愛する、「アモーレ」ということですよね。そしてお年寄りとか人間をとつても大切にします。そういう気持ちでイタリアで学んだのです。

それは大きなことですな

新谷 彫刻云々というよりも、それが今日あらゆる分野でイタリアがイニシアチブをとっているという理由なのかも知れません。

——テーマは愛なのですね

新谷 向こうへ行くとき魚が水を得たようになります。今日の日本は少し乾燥したような。神戸の街も無味乾燥にだんだんなっていくような気がするのです。

——震災後、この街で作っているということは大変と思うのですが、最終的には「アモーレ」がないと作品ができないのでしょうかね。

新谷 人間は愛の塊だと思ふのです。あるいは動物だって愛があるでしょう。愛がなければ物は出来ない。物には必ず愛がなければいけないと、グレコもマンズーも言っています。愛のない作品は作品でないし、愛のない街は街でないし、愛のない人間は人間でない。愛の教育、そしてバリエーションをもつと浸透させ理解させなければいけないと思います。愛と言えは男女の愛の愛が大切です。でも、両親を大切にしよう、お年寄りを大切にしようというの愛。昔の人は人や物を愛する心を持っていたと

思います。道一つ掃除するにも愛を持って向こう三軒両隣とやっていました。そういう気持ちがないと人間がだんだんロボット化されてしまうのではないのでしょうか。

——先生の作品は神戸の街でとても愛されているのではないのでしょうか。

新谷 最初からこうしたら愛されるだろうという計算は全くありません。自分が愛の塊だから当然そういう物しかできないのですよ。誰が作ったと言うことは関係ない。ただ未来の人に心地よく感じてもらえばいい。ミロのビーナスだって、サモトラケのニケだって、誰が作ったかわからないけれど、ルーブル美術館でシンボルになっているのです。仏像だってそうですよね。名前は失せていくのです。

——震災後10年経った神戸の街、これからどうあつてほしいですか。

新谷 ミケランジェロが言うように、天空の高いところから星が降る、星が降ってきたところに人が集まってきた、いろいろな煩惱が芽生えてくる、その芽生えたところにアートが花開く。そのような街になつてほしい。急がなくていいから、その下地を作ることにお手伝いできれば嬉しいですね。

兵庫県公館にて

新谷琇紀(しんたにゆうき)プロフィール

1937年神戸市生まれ。父は彫刻家の新谷英夫氏。金沢市立美術工芸大学彫刻科在学中に、柳原義達氏・矩幸成氏に師事。1965年、イタリア・ローマ留学。巨匠エミリオ・クレチ氏やジャコモ・マンズー氏に師事し、マリノ・マリニ氏・アレクサンドロ・モンテレーオーネ氏など第一線の彫刻家の知遇を得る。イタリア発祥の鋳造技法を研究するかわら、日本彫刻との違いを追求。野外空間の美化や地域芸術文化の振興にも、積極的な活動を展開している。神戸女子大学教授。平成元年度神戸市文化奨励賞、平成11年度神戸市文化賞、平成14年度兵庫県文化賞受賞。

画家・鴨居 逝つて二十年

伊藤 誠 美術評論家

このほど、親友の画家・鴨居玲に関する「回想の鴨居玲」という本を出した。実はもっと早くまとめたかったのだが、どういうわけだか早々に出来なかったのである。やはり彼が、かつて余りにも身近な存在だったということが逸る気持ちを躊躇させたのかも知れない。でも気がついてみると、二〇〇五年の今年はすでに彼の没後二十年に当たる。「一九八五年九月七日没」。月日の経つのは全く早いものだ。それにまた今年は、わが国の敗戦六〇年という貴重な節目の年にもなる。今出しておかなければ（私自身先のことを考えてみて）もう出す機会は無くなるかも知れない、そんな気持ちがい切つて刊行実現に踏み切らせた。

そもそも、彼に関する本を出そうと思ったのは、まず、やはり彼の死をキッカケに、その見事な画業と人柄を大勢の人に知ってもらいたいとい

うのが第一の目的。彼は、実到大勢の人たちから慕われた好ましい人柄であった。これは、生前彼と付き合ったことのある人なら誰もが口にしたことである。しかしその絵については、早くから猛烈なフアンの居ることは当然私も承知していたが、一方「あの絵の不思議な暗さはどちらかといえば敬遠したい」という考えの人たちの居ることもハッキリ分かっていった。でもジョクリ対してもらえば、それらの絵は必ず観る人の胸を打ち、対する者の共感呼び起こさずにはいない……と私は強く思うのである。彼はまさに「人間世界を突き詰めた」そして「時代を代表する」立派な画家のひとりだったことに間違いないのだ（将来の美術史にも必ず残るだろう）。

絵画作品は当然、それが描かれた時代・環境というものに大きく関わってくる。鴨居は昭和二年の生まれ（戸籍上

は三年二月だが）。そして昭和が間もなく消えていこうという同六十年に突然（と思われるような格好で）この世から去っていった。昭和は、その前期約三分の一（二十年）を戦争で終始し、同二十年八月に戦い敗れてからは国の価値基準を百八十度転換した。つまり、曖昧きわまりない「民主主義」なる世の中へ、未定見にズルズルッと組み込まれていった感が強い。まさに無責任な、波瀾万丈の時代へと突入した訳である（実は私も昭和三年の生まれで、鴨居の一歳下。だから戦前・戦中のあの時代感覚を共有したと思っている）。従つて、彼はおおよそ丸々この変動激しい「昭和」の時代を生き通し、最後はいわばその「昭和」に殉ず



パリ・グラン・パレ美術館の前で（1975年）。右から鴨居（当時47歳）、伊藤

るような格好でオサラバして行ったことになる。しかも、彼自身はある種観念をしていたかも知れないが、傍目にはどうにも満足し切れぬような奇妙な最期、と取れたことだ。

つまり、彼のことを書き残しておきたいと思った第二の目的は、その死の真相を私なりに究明したい、という点にあった（すぐ取り掛かれなかったのは、しばらく周辺の差し障りなどを躊躇した故でもある）。

それに、世紀が代わって世の中の空気が変化してきたように思われ出したことも大きい。口惜しいことながら、時間が経過して、日本人自体の

多くがあゝの昭和二十年八月十五日の思いを、もう忘れつつある。しかしこれは、この半世紀余りに世代交代もあつたことゆゑ自然のことでは…、などといったことでは済まされぬ（ある意味では）国家的

重大事ではなからうか。鴨居の絵には、個人的な出来事もいろいろと作用はしているが、同時に、先にも言った彼の生きた「時代・環境」と大きく絡んでいることも忘れてはならない。彼が生涯を込めて描いた作品を、今も描かれたときと同様、本当に活かして接しなくては…。そんな思いが、第三の目的になった、といえる。

ともかく、鴨居はいい男だった。もちろん、欠点も所持していたが、何とも素晴らしい人柄で、どこかモダンな神戸の街に実に似付かわしい人間だった。日頃から「一所不住」をとさえ、外国へもしきりと旅し、もちろん国内をも転々としながら、なぜかこの街・神戸に一番永く住み続け、最期にはここを「終の住みか」として逝つたのである。言わば後輩に当たる「神戸っ子」の、神戸を愛する諸兄姉には、是非読んで頂きたいと願っている次第だ。

伊藤誠著
「回想の鴨居 玲」昭和を生き抜いた画家
神戸新聞出版センター刊 一五〇〇円十税



鴨居玲画「教会」（1976年）＝写真共に「回想の鴨居 玲」収載

鴨居 玲・展覧会情報

没後20年を機に、兵庫県立美術館が2005年11月19日（土）～2006年3月5日（日）に同館所蔵作品を中心に小企画「特別展示 没後20年 鴨居玲展」を実施。また、11月から石川県立美術館を振出し、回顧「没後20年 鴨居玲展」が全国を巡回。近畿地区では神戸市立小磯記念美術館で2006年1月28日（土）～3月26日（日）。

インタビュー

平田郁 パリの風を描く

元町画廊主催「平田郁の巴里」展

大胆なライン。鮮麗な色彩。いきいきと、伸びやかに、スピード感あふれる絵画たちからは、街の空気や音まで伝わってきそう。

本誌連載中の小説『鏡の中

のサムライ』の挿絵でおなじみの平田郁さんの展覧会が、元町画廊で開かれる。今回の展覧会はそもそも予定している東京・銀座での油彩の個展のために描いたパリの風景画

の取材スケッチが、元町画廊の佐藤廉さんの目に留まり実現したとか。開催が決まったときは、嬉しさに自宅でバンザイをしたそう。

出展は昨年秋にパリで描いた水彩・パステル・クレヨンスケッチが中心。わずか8日間でなんと54点もの絵を描いたそう。日のあるうちは「観光にもほとんど行かず、お茶を飲む間も惜しんで」絵を描き、夜にはホテルで絵を広げて手を入れてと、精力的にパステルを走らせた。

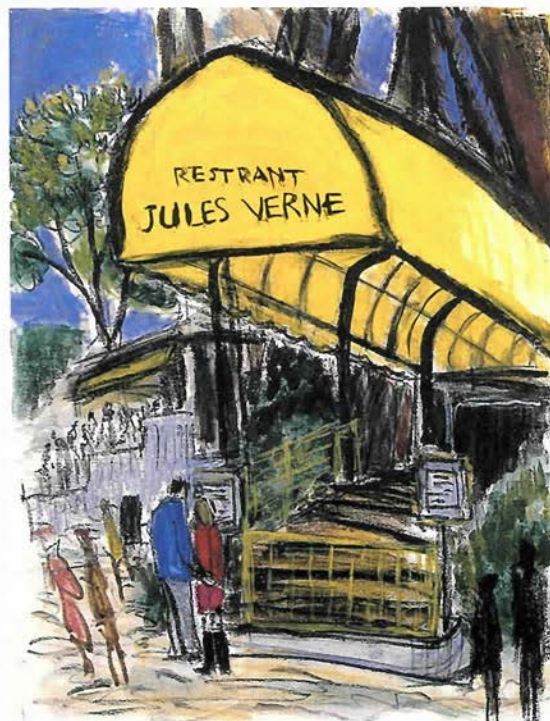
「パリの街はとても絵になります」とは言うものの、その視線は観光客とは違う。「イーゼルを立てると、360度の風景がそのまま絵になるのですよ。だから同じ場所でも4枚も描けてしまう」と語る彼女は、何気ない街の景観を絵描きの眼で切り取る。「裏通りの倉庫、地下鉄のゲート、果物



黒のワンピースを袴に着こなす明眸な平田郁さん。スタイルとセンスの良さは、絵のイメージにピッタリ



『モンマルトルの生地屋さん』



『ジュール・ヴェルヌ』

元町画廊主催
「平田郁の巴里」展

●日時●
2005年9月1日(木)～8日(水)
10時30分～18時30分(最終日は～17時)

●会場●
元町画廊 本店
神戸市中央区元町通1-7-2
078-331-2359

屋さんの商品の置き方、普通に街を歩く人まで、洒落た雰囲気を感じます。フランスは国ごと芸術(笑)。でもパリに住むとそれが当たり前になってしまふ。新鮮な感動を描くには、異邦人の視線が必要なのかも。だからたまに行くの、がいいのでしょうか。

好きな画家は、と尋ねると、「マティス」と即答した平田さん。「疲れを癒す肘掛け椅子のような絵を描きたい」というマティスの言葉に感銘を受けた彼女の絵は、私たちをホッとさせてくれる「癒し」のみならず、気っ風の良いタッチと鮮やかな色遣いから「励まし」も与えてくれる。

体から響く音は、心にも響く

感透音神戸主催

「音色の不思議コンサート」



聴衆も参加して、声の不思議を体験



新しい試みをプロデュースした、感透音神戸代表の榎家さん



松永光紗さんの歌は、時にはつぶやくように、時には叫ぶように...

7月15日、西宮プレラホールでおこなわれた感透音神戸主催の「音色の不思議コンサート」は、「声の中にBODYが見える」をテーマとしたユニークなものだ。

第1部では松永光紗さんが童謡、映画音楽、オペラと幅広いジャンルで透き通ったソプラノを披露。小笠原真也さんが奏でる清麗なピアノと合わせて、豊かな声の「表情」で観衆を魅了した。第2部ではその「表情」がどのようにして生まれるかを松永さんが解説し、観客も実践するという趣向。

声の基本はハミングであり、そのもとは骨格の響きなので、声は全身が「楽器」となって生まれるのだそう。また、ハミングの揺れは心臓の鼓動ゆえに、歌い手の興奮や緊張、リラクセス感などはすべて観衆に「表情」として伝わるのだという。感情を声にするにはまず体からということ、観衆も手話を用いて合唱。芸術と身体科学が融合した舞台は大勢の「体の声」で幕を閉じた。

なお、これを機に松永さん指導のコーラスを立ち上げ、初顔合わせを9月4日(日)におこなう。

お問合せ 感透音神戸

☎078-393-0838

「古き良き」を、新しい芸術文化へと結ぶ「縁」
三田ほんまち交流館
「縁」オープン



土間の間ではミニコンサートも



美しく生まれ変わった古民家。三田本町には古い建物がまだ多く残っている



「縁」が本町活性化の起爆剤となればと語る、ほんまちはかりや倶楽部代表の中西尚美さん



屋根裏部屋も雰囲気がある

三田市の旧市街地・本町に7月23日、三田ほんまち交流館「縁」が誕生した。古くから三田で営まれてきた中西度量衡店の築130年の民家を改築、その一角をギャラリーや演奏会などの会場、会合の場に開放した多目的スペース。土間や畳部屋など古くからの民家の雰囲気を活かした、おおらかで心地の良い空間だ。

改築にあたっては関西学院大学の学生や地元の方などもボランティアで協力。街の人たちのまちづくりへの熱い思いも、たくさんの方が心を込めて塗装した柿渋色の柱に込められている。また、ロゴは国広節夫氏の書、看板は近藤明氏の鉄と地元の作家たちの「作品」揃いで、アーティストが多い三田の街ならではの。

オープン当日には多くの市民が集い祝福。挨拶の席で中西度量衡店のおじいちゃん、中西康男さんが「古い物を新しいと思う感覚が大切」と語ったとおり、埋もれかけていた古い文化を見事に「新しく」再生した「縁」。ここから生まれた芸術文化は、街とともに育まれるだろう。

三田市三田町29-11
☎079-564-7085

小さな負担で大きな支援

兵庫県住宅再建共済制度が スタートしました。



震災の教訓を踏まえ、自然災害発生時の自助努力や公的支援の限界を補い、助け合いの精神に基づき住宅の再建を支援する、県の住宅再建共済制度がいよいよ始まりました。

この制度は、県内に住宅を所有している方が、平常時に年5,000円（初年度は月額500円）を負担することにより自然災害で、住宅が半壊以上の被害を受けたときに、住宅を再建・購入した場合に600万円、補修した場合に被害の程度に応じて50～200万円、再建・購入・補修をしない場合にも10万円を給付するものです。

保険とは異なるため、既存の地震保険等に加えて加入することも可能です。小さな負担で大きな安心が得られるこの制度、是非ご加入ください。



加入申込書配置場所

- ・県庁、県の地方機関、市(区)役所(町役場)
 - ・郵便局、金融機関
三井住友銀行、東京三菱銀行、UFJ銀行、但馬銀行、みなと銀行、池田銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫等
 - ・病院、医院、歯科医院の一部
 - ・大規模店舗
コープこうべ、そごう、大丸、ヤマトヤシキ、サティ、マックスバリュ、関西スーパー、コーナン等
 - ・主要駅
神戸電鉄、神戸高速鉄道、山陽電鉄、阪急電鉄、神姫バス営業所等
- ※個別の支店等への配置には時間がかかる場合があります。

〔申込方法〕

県庁、県の地方機関、市(区)役所(町役場)、郵便局等にある加入申込書に必要な事項を記載のうえ、郵送でお申し込みください。

〔問い合わせ〕

(財)兵庫県住宅再建共済基金078-362-9400
ホームページ
<http://web.pref.hyogo.jp/jutakukyosai/>

すべての自然災害が対象 (加入日以降に発生した自然災害が対象です)



共済制度 Q & A

Q どんな人が加入できるの？

A 兵庫県内に住宅を所有している方です。共済への加入対象住宅が兵庫県内にあれば、所有者が県外に居住していても加入できます。賃貸住宅を所有されている方も加入可能です（賃貸住宅の戸数分まで加入できます）。法人も加入可能です（賃貸住宅・杜宅等）。

Q どんな場合に共済給付金が支払われるの？

A 対象住宅が市役所・町役場の交付する「災証明書」で半壊以上の被害認定を受け、その住宅に代えて別の住宅を再建・購入した場合やその対象住宅を補修した場合などに支払われます。

負担と給付

共済負担金

5,000 円／年（ただし初年度は500円／月）

共済給付金

- ▶ 自然災害で半壊以上の被害を受け、住宅を再建・購入した場合 **600** 万円
- ▶ 住宅を補修した場合
 - ・全壊 **200** 万円 ・大規模半壊 **100** 万円 ・半壊 **50** 万円
- ▶ 自然災害で半壊以上の被害を受け、補修をせず賃貸住宅に入居した場合等 **10** 万円

上田千華
presents

ちがナビ

ONE DAY
TRIP
ワンデイトリップ

体験・体感の六甲山編

上田千華がご案内する「ちがナビONE DAY TRIP」のコーナー。今回はレジャーシーズン真っ盛りの六甲山へ。体験と体感をキーワードに、緑に包まれた六甲を五感で満喫！グルメとアートで食欲と芸術の秋をまるごと楽しむ小旅行へ、いざ出発！

バーコードリーダー機能付き携帯電話で、今回ご紹介したお店の情報を確認することができます。QRコードを読み取ってアクセス！※機種によってはアクセスできないこともあります

①六甲木まぐれ



気軽に楽しめる
ガラスアート制作

すがすがしい！六甲山の上
は空気が違います。

まずは記念碑台近くの別荘街の一角、工房・六甲木まぐれへ。「木」まぐれの名のごとく、森の静寂に包まれています。テラスからは遠く関空まで望め、風も涼しくて爽快！



ここで体験できるガラスボトルクラフトとは、酒屋さんなどから回収したきれいな空きビンを取りサイクル活用し、電気炉で熱しやわらかくして加工するものです。



オーナーの阪井さんのお手本を参考に、ビンの先端の部分を利用した花器に挑戦。炉はなんと千度の熱で、額から汗が。ガラスを約3分炉に入れると水飴のようにやわらかくなりますが、手際よく加工しないと冷えてしまうのでちよっぴりドキドキ。でも阪

井さんが親切にお手伝いしてくれて、意外とカンタンに形ができてしまいました。あとは40分ほど自然に冷やして完成！ほら、なかなかでしょ？
阪井さんのユニークな作品も、一見の価値アリですよ！

●体験は材料費込み千円。要予約。体験可能の日は、お電話またはホームページでご確認ください。



●六甲木まぐれ

受付時間 9時30分～15時 不定休
☎078-891-0730
神戸市灘区六甲山町南六甲 1034-60
霧ヶ谷地区 102
<http://www11.ocn.ne.jp/~kimagu/>



② レストラン 六甲の丘



舌でとろける

三田牛ローストビーフ

お待ちかねのランチタイムは、六甲山ホテルを西に少し行ったところのレストラン六甲の丘で。ユニークな牛のオブジェが迎えてくれます。

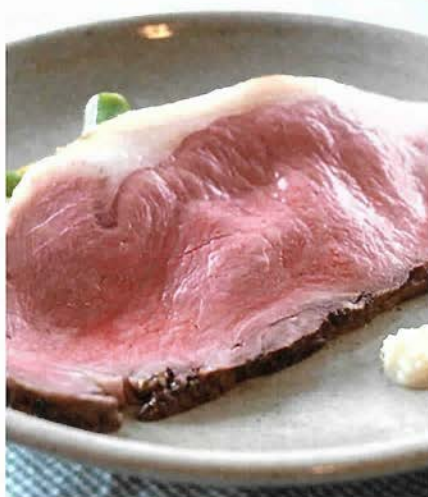
地場の素材にこだわったお

料理が自慢だそうです。特にオススメは三田牛のローストビーフ！なんと霜降りのサーロイン使用です。1週間熟成させた食べ頃のお肉を香味野菜につけ込んで約2日、オーブンで絶妙に火を入れて一度冷まして味をなじませ、もう一度温めて：と手の込んだ逸品は、口にするとお肉がじんわり溶けて旨味に変わるのです！この味覚体験、はじめ

てです。

添えられたお野菜も旬のもので上品な味。山桜で燻製にした自家製のハムやベーコンはお持ち帰りもOKです。

おみやげ用に、お店で使っている木器窯の器など、シェフの小門さんと親しい作家さんの作品も並びます。絶品、そして絶景を、是非ここで体感してください。



● レストラン六甲の丘

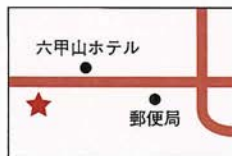
営業時間 12時～22時 火曜日定休

☎078-891-0653

神戸市灘区六甲山町南六甲 1034-35

<http://park10.wakwak.com/~rokko/>

<http://www.rokkobeef.com/>



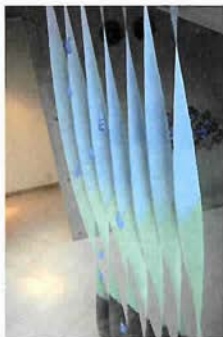
③ RCN キューブ 山の小美術館



自然と調和する
おだやかな
アートスペース



六甲オリエンタルホテルの
脇の小径を森へ。NPO法人、
六甲山と市民のネットワーク
(RCN) が運営する小さな
美術館は、野鳥のさえずりの
中にあります。



建物へのアプローチにも、木々
にオブジェが飾られどこか風
趣な感じ。美術館の中の展示
も個性的。窓の向こうの風景
や差し込む光、通り抜けるそ
よ風までアートの要素のよう
です。作品を通して敷地全体
の空間を芸術に昇華させた感
じで、鑑賞すると言うより体
感するという表現の方がしっ
くりきます。何となく心地よ
いのは、自然とアートが調和
しているからでしょうか。

遊休保養所を活用したこの
美術館は、カフェテラスもオ



ープン。アーティストとともに
に楽しく創作するワークショ
ップやイベントにも注目です。
緑とアートの薫りに包まれて、

ゆつくり心の洗濯をしてみ
ては？

●企画展

「自然に遊ぶー水野真由美展」
9月23日(祝)～11月13日(日)

●RCNキューブ 山の小美術館

開館時間 11時～15時(平日)
11時～16時(土日祝)
月・火定休(祝日の場合は翌日)
☎078-891-0373
神戸市灘区六甲山町西山1878-64
<http://www.rokotosan.org/>
入館無料 企画展入場料 300円



④ まきば 夢工房

アイスクリーム
づくりを体験



いつ来ても気持ちいい六甲
山牧場。今日も羊たちが元気
に草をはんでいます。その一

角にあるまき

ば夢工房では、
アイスクリー
ムやバターな
どの畜産品を
作ったり、羊





毛のクラフトを作ったりといろいろ体験できます。

今回はアイスクリームづくりに挑戦。牛乳と生クリームをカップで計ってボウルに入れ、お砂糖を加え軽く混ぜ、それを氷が入った大きなボウルに乗せます。

凍りついた材料をボウルからはがしながら、空気を入れるのがポイント。氷には塩を加えてあって、とにかくかなり冷えるのです。ですから意



上田 千華 (Ueda, Chika)

大阪府生まれ、蟹座のO型。関西学院大学卒。

かつてはNHKのキャスターとして『とっておき関西』や『ニュースパーク関西』、『生活ほっとモーニング』などおなじみの番組に多数出演。現在はテレビやラジオのみならず、イベントのMCや各種シンポジウムの司会など活躍の幅を広げている。

証券外務員や旅行業務旅程管理主任者の資格を持つなど、多彩な一面も。場の雰囲気ガラリと変えてしまう程の太陽のような明るさの持ち主。好きな食べ物はメロン以外すべて!?

●アイスクリームづくり体験は一名800円。時間は基本的に10時、13時、15時の3回。当日受付を行うときもありませんが、前日までに予約を。詳しくはお問い合わせを。

しばらく奮闘するほどよい固さに。コーンに盛りつけて完成です。

気になるお味の方は…。うーん、ミルクの風味がナチュラルで美味しい！舌触りもなかなか。簡単なので、家族みんなで楽しめそうです。

それでは、次回もお楽しみに！



外と早く凍りつき、しかも固いので、手際よくやらないと…。

タイムスケジュール

10:30 ①六甲木まぐれ

↓ 車で約5分

12:00 ②レストラン六甲の丘

↓ 車で約10分

13:20 ③RCN キューブ 山の小美術館

↓ 車で約15分

14:45 ④まぎば夢工房

●神戸市立六甲山牧場

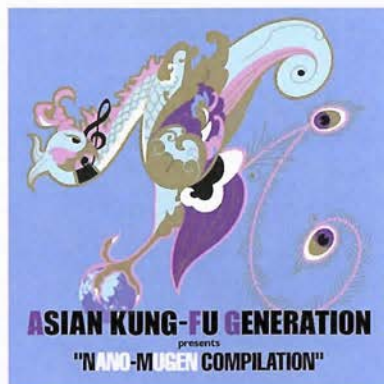
営業時間 9時～17時 火曜日定休
神戸市灘区六甲山町中一里山1-1
☎078-891-0280
<http://www.rokkosan.net/>





アーティストのプロモーションビデオを
神戸で撮影。CMで見たあの場面も!

**ASIAN
KUNG-FU
GENERATION**
「ブラックアウト」



アンダーグラフ
「君の声」

ガガガSP
「つなひき帝国」



「映像作品」と聞くと、みなさんは、何をイメージしますか？映画？テレビ？それともコマーシャルでしょうか。神戸では毎年150本以上の様々な映像作品が撮影されていますが、その中の1つが、

アーティストのプロモーション・ビデオ(PV)。ミュージック・ビデオ、ミュージック・クリップ、ビデオ・クリップとも呼ばれる、CDの販売促進のために製作される音楽ビデオ作品のことです。

PVは、1980



アンダーグラフ



アンダーグラフは、昨年9月にメジャーデビューを果たしたバンドですが、彼らのファーストシングル「ツバサ」は、発売半年以上たつてからも再びトップ10入りするロングヒットになりました。それに続くシングルとなれば、彼らにとつては大切な作品です。その「君の声」のPVの撮影場所には選ばれたのが神戸。とても光栄でしたし、何よりも三宮北広場（通称凸凹広場）や大阪城公園（通称城天）でストリートライブをやっていたという関西出身の彼らが、故郷を大事にしてくれていることを嬉しく思いました。撮影の合間にメンバーと話したのですが、とてもまじめで爽やかな方たちでした。

人気の映像コンテンツです。映画監督の中には、PVの監督から演出を始めた人も大勢います。神戸でも、そんなPVの撮影が時々あります。最近のものでは、例えば、アンダーグラフの「君の声」。

PVの撮影場所は、主に流通科学大学のキャンパス。ビデオをご覧になった方は分かれると思いますが、エキストラの方たちが長時間静止ポーズを取っていなければならぬのが大変そうでした。4月20日の発売に間に合うよう、撮影が行われたのは3月上旬でしたが、天気が安定せず、晴



神戸市西区にある流通科学大学で撮影が行われた。



撮影こぼれ話〈アンダーグラフ編〉

撮影が行われたのは3月上旬。その日は寒く、衣装は薄着！いつも裸足で演奏するDr. 谷口さんは、そんな中でも演奏シーンにはやっぱり裸足！さすがに寒すぎて、夜の撮影の際には靴を履いていました。

野外での撮影やライブでは、雨が降ることが多く、この撮影でも1日目の夜と2日目にはやっぱり雨が降っていました。映像では見えないと思いますが、Vo. 真戸原さんのソロシーンは雨の中での撮影でした。ちなみに、撮影場所の大学構内はとても広く、Ba. 中原さんは迷子になったらしい！

れていたかと思うと曇天、そして雨。コロコロ変わる空の表情の下で照明がこうこうと輝き、それがまた、曲のイメージに合っているのがなんと不思議でした。

ほかにも、5月25日に発売された神戸出身のバンド、ガガSPの最新シングル「つなひき帝国」のPVは、オール神戸ロケ。六甲山牧場をはじめ、長田や須磨海岸など、神戸の人にとってはおなじみの場所がたくさん登場します。もちろん、ガガSPは神戸に詳しいので、ロケ地を決めたのは彼ら自身。私たちは、その場所の撮影許可を取る支援を行いました。ちなみに、「全国無責任時代」も同じ時に神戸で撮影しています。

また、6月8日に発売されたコンピレーションアルバム「[ASIAN KUNG-FU GENERATION presents NANO-MUGEN COMPILATION]」に収録されているASIAN KUNG-FU GENERATIONの新曲「ブラックアウト」のPVも一部神戸で撮影されました。どのシーンかというと、なん



ASIAN KUNG-FU GENERATION



撮影こぼれ話<ガガガSP編>

撮影場所は、ガガガSPの地元である神戸（六甲山牧場～長田の商店街～須磨海岸）。今回のコンセプトは、ずばり綱引き。エキストラの皆さん延べ150人の方と2日間綱引きシーンを撮影しました。体調を崩していたコザック前田さんは元々、露出が少なめだったのですが、そこはファン思いのコザック前田さん。撮影2日目には、商店街にてエキストラの皆さんを前に急遽（スタッフも知らなかった）、約5曲をアコギで演奏&熱唱する弾き語りライブを敢行！中には未発表の新曲も。エキストラの皆さんも大喜びでした。10月末or11月上旬にガガガSP初のクリップ集発売予定！

とエレベーターと駐車場。神戸出身というわけではない彼らのPVで、なぜエレベーターと駐車場をわざわざ神戸で？と思われるかもしれませんが、理由はイメージに合っていて撮影許可が下りる場所が神戸にあったからです。エレベーターも駐車場も、場所はポーターアイランド。でも、映像が加工してあるので、見ただけでは神戸の人でさえ分からないかもしれません。残念ながら、今回の撮影にはメンバーは来なかったのですが、次回はぜひ、メンバーに来て頂きたいと思います。

作品の長さはわずか数分ですが、その短い時間の中で、アーティストや曲のメッセージを伝えなければならぬプロモーション・ビデオ。映像と音楽がぴったり合った作品は、映画やドラマに負けない感動を与えてくれることがあります。

田中まこ／1955年大阪生まれ。カリフォルニア大学ロサンゼルス校で2年学んだあと国際基督教大学編入・卒業。会社、DJ、通訳、翻訳などを手がける。2000年9月より神戸フィルムオフィス代表。
神戸フィルムオフィス
07830332021

イラスト 川田敦子